

## 序章 基本計画策定にあたって

## 第2章 計画で目指す将来の姿

### 1 基本計画の位置づけ

みやぎ食と農の県民条例（H12.7.10施行）で掲げる4つの目標の実現のため、基本計画を策定し、農業・農村の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するものです。

計画期間は10年間（令和3年度～令和12年度）

#### 条例に掲げる4つの目標

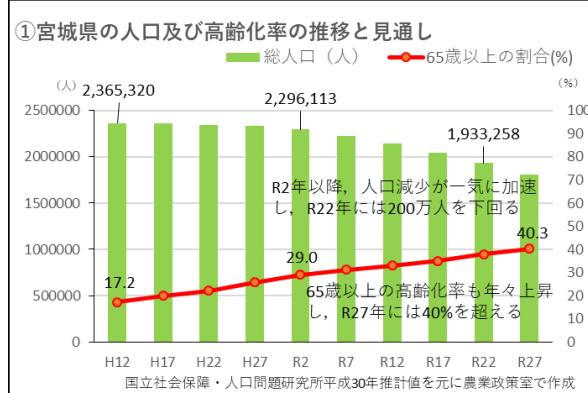
- 安全で安心な食料の安定供給
- 農業の持続的発展
- 多面的機能の発揮
- 農村の総合的な振興

### 2 基本計画の趣旨

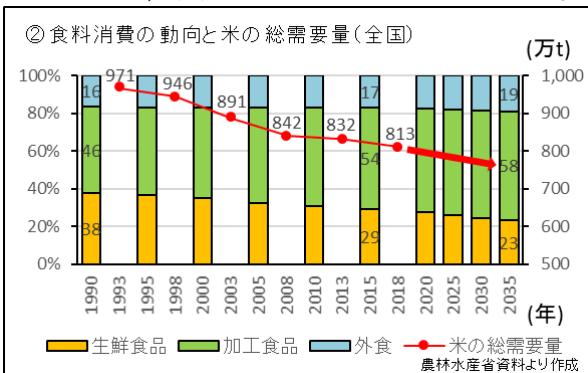
人口減少が今後さらに加速する中で、SDGs（持続可能な開発目標）の観点も踏まえながら、宮城県の食と農業・農村が持続的に発展するために目指す将来像や目標を明らかにし、その実現に向けた中長期的な取組内容を本計画に体系的に示します。

## 第1章 食と農を取り巻く情勢

人口減少が今後加速化することが予測され、食と農に関わる人材不足が懸念されます。



米の需要量は年々減少する一方で、食の外食化が進行するなど、食のニーズは変化しています。



### 【キャッチフレーズ】 多様な人材が未来へつなく 豊かなみやぎの食と農

人口減少や高齢化が進む中で、農業を地域経済を支える産業として維持・発展させるため、農業・農村への消費者の理解と協力のもとに、農業者だけではなく、次世代の若者も含め、食と農に関わる全ての人材が結びつき、活躍することで、安定した農業生産と経営、農村が持つ機能の発揮を将来にわたって確保していくことを基本計画で目指す将来像として掲げます。

#### I 食の将来像

海・山・大地の豊かな恵みと東北の中心都市仙台を抱える強みが活かされ、県内外の消費者と生産者の相互理解が深まるとともに、食品産業等と連携した多彩な取組により、「食材王国みやぎ」として市場評価が向上し、時代のニーズに対応した豊かな食が国内外で広く流通しています。

#### II 農業の将来像

スマート農業先進県として、全国トップクラスの大区画農地やロボット技術等を活用した労働生産性の高い水田農業や畜産経営が展開されるとともに、園芸栽培に適した気候や立地条件を活かした園芸団地が各地に形成され、食品産業とのバリューチェーンの構築が進み、農業が地域経済を支える産業として発展しています。

#### III 農村の将来像

都市と農村の距離が近く、美しい風土や地域資源が豊富にある強みを活かし、郷土愛のある地域人材が外部人材との協働により、多彩な“なりわい”を創出し、地域全体の所得が向上する経済の好循環が生まれ、関係人口や移住者に選ばれる持続可能な農村が実現しています。

### 1 農業産出額の目標



### 2 農業の担い手・農地の目標

● 認定農業者数の目標 ※目標値調整中  
6,481経営体(H29)⇒○○○経営体(R12)  
〔販売農家数の見通し〕  
37,522戸(H27)⇒20,500戸(R12)  
※経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家。農林業センサスをもとに推計。  
⇒販売農家数が減少する中で、食と農業・農村の持続的発展のため、認定農業者を確保するとともに、意欲ある家族経営体や農村活性化人材等の多様な人材の確保・育成を推進します。

#### ● 農地面積の目標

126,300ha(R1)⇒119,500ha(R12)  
※宮城県国土利用計画をもとに推計

⇒販売農家数の減少に伴い農地面積の減少が予測されますが、条件不利地における耕作条件の改善や、スマート農業技術導入、地域資源を活用した多様ななりわい創出等により、優良農地の確保と効果的な活用を推進します。

## 第3章 食と農の振興に関する施策の推進方向

「儲かる農業」の実現と「活力ある農村」の形成により、「豊かな食と農」を創造します。各種施策の推進にあたっては、平坦地域と中山間地域のそれぞれの強みや課題を意識した取組を展開します。

### I 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）

- 施策1 食・農業・農村との協働を生み出す取組の推進
- 施策2 需要の変化に対応する県産食品の販売力強化

施策3 県民への安全・安心な食料の安定供給

### II 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲かる農業）

※特に平坦で耕作条件の良い地域において効果が発揮される施策

- 施策4 みやぎの農業を支える多様な人材の育成
- 施策5 先端技術等を活用した農業生産の効率化と高度化
- 施策6 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化
- 施策7 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立
- 施策8 水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興
- 施策9 生産基盤の拡大による畜産物の競争力強化

### III ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

※県内全域で展開しますが、中山間地等の耕作条件が不利な地域で特に重要な施策

- 施策10 関係人口の創出と農村活性化人材の育成・確保
- 施策11 地域資源を活用した多様ななりわいの創出
- 施策12 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり
- 施策13 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

※各施策を効果的に推進するため、第4章「推進体制」において、「各主体の役割」、「計画の進行管理」、「関連計画との連携」を記載。

## I 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）

### 施策1 食・農業・農村との協働を生み出す取組の推進

- ①農村地域と都市部との交流拡大の推進（**体験～理解**）
- ②県産食品の魅力発信による農業・農村を支える消費行動の促進（**消費行動**）

### 施策2 需要の変化に対応する県産食品の販売力強化

- ①バリューチェーン構築に向けた食産業への支援（**バリューチェーン構築**）
- ②県産農林水産物の付加価値を高めるブランド化の推進（**ブランド化**）
- ③多様な主体と連携した国内外への販路開拓の展開（**新たな需要への対応**）

### 施策3 県民への安全・安心な食料の安定供給

- ①生産から製造の各段階における適正管理による食品トレーサビリティの取組推進（**安全・安心**）
- ②科学的知見に基づく県産農林水産物の安全性評価（**安全性評価**）
- ③様々なリスクを見据えた食料供給体制の構築（**安定供給**）



## II 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲かる農業）

### 施策4 みやぎの農業を支える多様な人材の育成

- ①意欲ある農業経営者の確保・育成と円滑な経営継承（**経営者**）
- ②企業等の農業参入推進（**企業参入**）
- ③多様な働き手が活躍する農業生産支援体制の構築（**働き手**）

### 施策5 先端技術等を活用した農業生産の効率化と高度化

- ①生産性向上のためのスマート農業技術の実装（**スマート農業（畜産含む）**）
- ②気候変動に対応した農業技術の開発と現地普及（**気候変動への対応**）

### 施策6 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化

- ①農業の成長産業化に向けた農業基盤整備（**大区画農地整備**）
- ②中山間地域等における農業生産の効率化と優良農地の確保（**耕作条件改善**）
- ③農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積・集約化の推進（**農地集積**）

### 施策7 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立

- ①先進的施設園芸の強化による園芸生産力の向上（**先進的施設園芸**）
- ②大規模露地園芸の振興による園芸生産力の向上（**大規模露地園芸**）
- ③出荷調整体制の再構築による地域戦略品目の振興（**地域戦略品目**）

### 施策8 水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興

- ①需要に応じた米生産と高収益作物の導入（**水田利用の調整**）
- ②高品質かつ多収穫・低コストな稲・麦・大豆づくり推進（**技術力向上**）

### 施策9 生産基盤の拡大による畜産物の競争力強化

- ①優良種畜の確保と活用による畜産物の品質向上と安定供給（**肉用牛生産振興**）
- ②畜産の生産性向上のための生産基盤の強化（**生産基盤強化**）



## III ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

### 施策10 関係人口の創出と農村活性化人材の育成・確保

- ①交流拡大による関係人口の創出（**関係人口**）
- ②農村活性化人材の確保・育成の推進（**農村活性化人材**）
- ③地域コミュニティ組織の強化（**地域コミュニティの活性化**）

### 施策11 地域資源を活用した多様ななりわいの創出

- ①地域資源の掘り起こしと磨き上げによる高付加価値化（**6次産業化**）
- ②地域運営組織の活動支援によるなりわいの創出と継承（**地域資源ビジネス**）
- ③地域経済循環の構築に向けた支援（**地域経済循環**）

### 施策12 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり

- ①環境に配慮した生産の取組支援と理解促進（**環境配慮**）
- ②農村の地域資源保全活動の推進による多面的機能の維持・発揮（**地域資源保全**）
- ③野生鳥獣による農作物被害対策の強化とジビエ利活用の拡大（**鳥獣対策**）

### 施策13 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

- ①農村の防災機能の充実（**防災機能強化**）
- ②水田の有する貯留機能の効率的な発揮（**田んぼダム**）
- ③農業水利施設等のストックマネジメントの推進（**水利機能維持**）
- ④農村地域の生活環境の維持（**生活環境維持**）



施策〇〇：第3期基本計画において特に重点的に進める施策を示しています。